

地盤調査規格・基準委員会

平成26年度第3回 議事録

日時	平成27年2月23日（月）14:00～17:00			場所	地盤工学会 会議室			
委員長	利藤 房男	○	幹事（岩）	長田 昌彦	○	幹事（土）	浜田 英治	○
委員	栗津 誠一	×	WG1委員	窪田 健二	○	WG2委員	辻野 敏文	○
WG2委員	中野 義仁	○	WG3委員	竹内 真司	×	WG3委員	小松 満	○
WG4委員	平林 弘	○	WG5委員	小早川 博亮	×	WG5委員	百瀬 忍	×
WG6委員	藤田 智弘	○	WG7委員	浅井 健一	○	WG7委員	藤崎 勝利	○
WG8委員	伊藤 圭二郎	○	WG9委員	長田 昌彦:兼務	○	WG10委員	杉井 俊夫	
WG10委員	細谷 真一		WG11委員	平林 弘:兼務	○	WG12		
WG13(幹事)	横山 幸也							

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定

配布資料

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・ 前回議事録 (H26-12-10)	・ 資料26-3-1
基準部会	・ 第4回 (H26-11-11) 議事録 ・ 第5回 (H27-1-20) 議事録	・ 資料26-3-2 ・ 資料26-3-3
基準部会・英訳実行委員会	・ 規格基準リスト-英訳作業進捗状況	・ 資料26-3-4
基準部会・JIS表記委員会	・ JIS地盤工学用語 (基準部関連委員会からの意見+回答案)	・ 資料26-3-5
ワーキング3	・ WG3活動報告「議事録」	・ 資料26-3-6
ワーキング3	・ 理論式の誘導整理	・ 資料26-3-7
ワーキング10	・ WG10活動報告「議事録」	・ 資料26-3-8
ワーキング10	・ 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法 (指摘事項表と基準素案)	・ 資料26-3-9
ワーキング11	・ 動的コーン_基準番号案 ・ 動的コーン貫入試験_解説	・ 資料26-3-10 ・ 資料26-3-11
会員からの質問	・ 前回委員会以降の会員からの質問と回答	・ 資料26-3-12 ・ 資料26-3-13 ・ 資料26-3-14

審議事項

- (1) 「理論式の誘導整理」 (資料26-3-7)
- ・ WG3小松委員より、資料について説明がなされた。
 - ・ 本件は最終的に、書籍にする方針で全員一致した。

→3/2の基準部会での審議事項

- (2) 「地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法（指摘事項表と基準素案）」（資料26-3-9）
- WG10小松委員より、資料について説明がなされた。
 - 前回委員会での指摘事項について修正されている事を確認したが、一部検討中の部分もあるとの説明であった。
 - 委員より英文タイトルについて以下の意見が出された。
 - ☞ 英文名に、「地盤を対象とした」の語句が入っていない。
 - ☞ 英文名の単語表記では、前置詞以外は大文字ではないか。
 - ☞ 「1.適用範囲」で、岩盤は対象とならないのか？これらについてはWG10にて検討した後、メールや次回委員会にて報告することとなった。

→3/2の基準部会での審議事項

→委員会後、英文タイトルのキャピタライゼーションのルールを確認したので、このルールに基づくこととする。

1. タイトルの最初と最後の単語の先頭を大文字にする。
2. 名詞、代名詞、動詞、形容詞、従属接続詞、副詞は必ず大文字にする。
3. 冠詞、等位接続詞、前置詞や不定詞のtoは小文字にする（前置詞の場合は5字以上の場合は大文字にする）。

- (3) 動的コーン貫入試験の基準番号案（資料26-3-10）
- WG11平林委員より、「動的コーン貫入試験方法」の基準番号案の説明があった。学会の表記方法にしたがって、WG11の番号案の通り「JGS 1437-2014」とすることで全員一致した。
 - 小松委員より、「単孔を利用した地下水流向流速測定方法」の基準番号も同様の表記方法にしたがい、「JGS 1318-2015」とする案が出された。
 - 全員一致でこれを承認した。

→3/2の基準部会での審議事項

- (4) 「動的コーン貫入試験の解説」（資料26-3-11）
- WG11平林委員より、「動的コーン貫入試験方法の解説」の説明があった。
 - 委員より以下の意見が出された。
 - ☞ 式4.1.12と式4.1.13の、0.5を1/2にする。
 - ☞ 図・表の英字表示を日本語にする（英字文献からの引用以外）。
 - その他気付いた点があったらメールにて指摘し、基準部会で出された意見とともに、浜田委員（幹事）がWG11にフィードバックすることとした。

→3/2の基準部会での審議事項

報告事項

- (1) 前回議事録確認（メール審議で承認済み：資料26-3-1）
 - 特になし。
- (2) 第4回(H26-11-11)の基準部会議事録（メール配信にて報告済み：資料26-3-2）
 - 特になし
- (3) 第5回(H27-1-20)の基準部会議事録（メール配信にて報告済み：資料26-3-3）
 - 特になし
- (4) 規格基準リストー英訳作業進捗状況（資料26-3-4）
 - 英訳実行委員を兼務する浜田委員より、基準の英訳作業の進捗と今後の工程について説明があった。
- (5) JIS地盤工学用語（基準部関連委員会からの意見+回答）（資料26-3-5）
 - 地盤調査WGからの意見が反映されているかどうか確認した。
 - 表記委員会委員を兼務する利藤委員長が、次回の表記委員会の時に地盤調査各WGからの意見について

で説明することとなった。

- (6) ワーキング3活動報告「議事録」(資料26-3-6)
 - ・WG3小松委員より、議事録に基づいてWG3の活動報告があった。
- (7) ワーキング10活動報告「議事録」(資料26-3-8)
 - ・WG10小松委員より、議事録に基づいてWG10の活動報告があった。

- (8) 前回委員会以降の会員からの質問と回答
 - ・「平板載荷試験(載荷パターン)」(資料26-3-12)
 - ☞回答を担当したWG5の幹事が欠席なので、浜田委員(幹事)が説明した。特に異議なし。
 - ・「平板載荷試験(変位計)」(資料26-3-13)
 - ☞同上、浜田委員が説明した。特に異議なし。
 - ・「透水係数の算定式」(資料26-3-14)
 - ☞回答を担当したWG3の小松委員が説明した。
2004年版のデータシートの数式が間違っているので、学会HPに掲載されているデータシートが2004年版か2013版かを確認し、その結果を追記することとした。